

サポート通信



特別支援教育センター校からの情報発信ネットワーク

発行者 広島市立広島特別支援学校地域支援部 広島市南区出島四丁目1番1号 TEL 代表 (082) 250-7101

見やすさ、読みやすさの工夫がいっぱいの教科書で学ぼう！！

自分に合った学び方を選ぼう!!

令和2年度から、小学校の教科書が新しくなり、国語については小学校も中学校も「光村図書」の教科書になります。ということで新情報をお届けします！！

お得情報① 指導書の付録でルビ付き教科書が手軽に印刷できる！

光村図書「国語」の指導書（各学年税別¥25,000）には、付録としてCD-ROMがついています。中には教科書と同じサイズのルビ付き教科書のPDFデータが入っており、手軽に印刷できるようになります。

ルビが振ってあることで内容理解が進む子がいます。まずは一単元分を印刷して読んでみてもらい、本人と使ってみた感想を聞いてみてください。本人が必要を実感したところで、続きを渡します。表紙を付け製本して教科書と変わらないような配慮をして使えるようにしている学校もあるようです。先生方の気付きがスタートです。子どもと相談しながら自分に合った学び方を試せるといいですね。

お得情報② デジタル教科書には充実のサポート機能が！

★ ルビ表示、背景色の選択、音声読み上げができる！

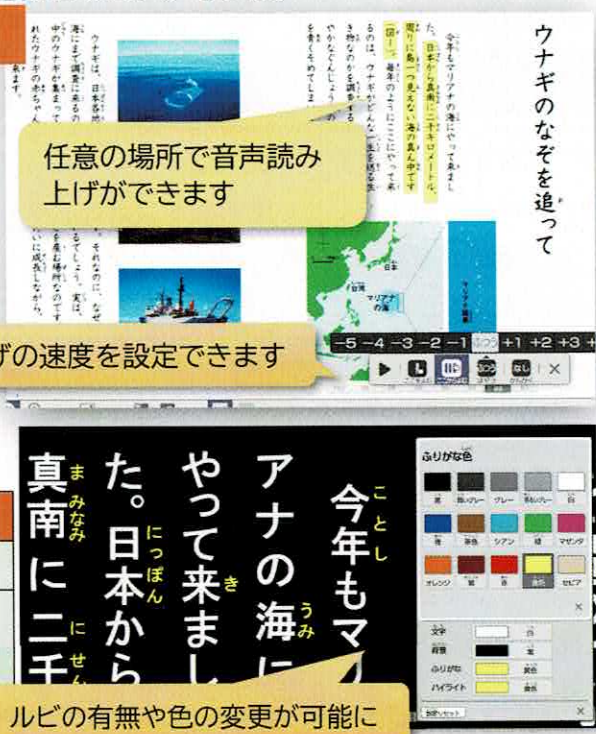
基本的な操作として、全ての漢字にルビ表示（ルビの文字色も変更可）、音声読み上げや背景色の変更など、「見やすさ」「読みやすさ」への配慮が充実。読み書きに困っている子どもたちの学習意欲を支えてくれる選択肢の一つになりそうです。

★ パソコンでもiPadでも使える！

子どもが扱いやすい機器を選んで使用が可能になります。

★ 個人単位で購入可能な学習者用がリーズナブルに！

児童生徒用（国語）	
学習者用デジタル教科書	学習者用デジタル教科書+教材
内容は紙の教科書と同一	動画・写真資料・朗読・ワークシート・ドリルなどのコンテンツを収録
ルビ表示、読み上げ、色変更	
¥800/1ユーザー	¥1,400/1ユーザー



※ 2020年3月発売

(c) Mitsumura Tosho Publishing Co.,Ltd 2019

※ 体験版公開 URL https://www.mitsumura-tosho.co.jp/2020s_digital/demo/

※ お問い合わせ先：光村図書出版株式会社 ICT事業本部普及促進部または広島県教科用図書販売株式会社

報告1

夏期サポートセンター研修

WISC-IV アセスメント 8月7日～8日



昨年度好評だった WISC-IV についての研修会を今年度も市立学校の先生方を対象に行いました。

1 日目は検査器具を使って検査の内容を知ることから始めました。「検査結果を見たことはあったが、どのような検査を行うか初めて知った。」「WISC-IVの目的や構成が具体的に良く分かった。」と感想をいただきました。

2 日目はグループに分かれ、プロフィールの読み取り並びに具体的な支援について話し合いました。始めはなかなか意見の出なかったグループも、1 日目の資料と照らし合わせながら検討し、終盤にはどのグループも次々と意見が出ていました。また、先生方がプロフィールから読み取れる子どもの強みを基に、支援を考えられている様子が印象的でした。「特性を生かした支援を考えたい。」「校内でも複数の教員で支援について検討したい。」などうれしい感想をたくさんいただきました。来年度も日々の実践に生かせる研修を計画したいと思います。

夏期校内研修会

コグトレについて 宮口英樹広島大学大学院教授による講義 8月21日

報告2

8月21日に広島大学大学院の宮口英樹先生をお招きして、校内研修会を開きました。学習面やコミュニケーション・社会面などに困難さをもつ子どもに対するアプローチについて、コグトレの理論と手法を紹介していただきました。始めに「さがし算」などのプリント課題の説明と、見る・聞くなどの力を伸ばすことについて、映像を交えてのお話がありました。コミュニケーションについては、対人マナーの育成が基本になることを話され、表情のイラストを見て、相手の気持ちを考えるプリント課題などを紹介いただきました。自分の身体を知ることが物や相手との関係理解につながる話もされ、実演を行いながら説明されました。「目を閉じて、次の動きをしてください。」の指示に応じ、実際に体を動かしてみましたが、言葉をインプットし、動きでアウトプットすることが思いのほか難しいことであることを実感することができました。子どもたちへの指導のヒントがたくさん詰まった、有意義な研修会となりました。



取組

野外活動で児童の自主性を養う支援

イラスト付きのスケジュールカードや役割分担バッジを使ってひと工夫

本校の小学部5年生の野外活動の取組について紹介します。三滝少年自然の家に1泊2日で行きました。事前学習では、「野外活動当日の流れを理解し見通しをもつ」、「係活動での役割を意識して自主的に活動する」ことなどを目標として、主に三つの支援を行いました。

児童が当日の見通しをもてるようにするために、学年全体の授業で、前年度の野外活動の写真を見せたり、実際に活動の模擬体験の場を設定したりして、活動日程を予定ボードにしました。

係活動では、生活係、キャンプファイヤー係、クラフト係、司会係の四つの係を設定し、児童一人が一役を受けもつようにし、役割を果たし、お互いに協力して活動を成功できるようにすることを目標としました。係ごとにバッジを作製し、身に付けるようにすると、係の仕事に意欲をもって取り組む児童が多くいました。事前に学校で係ごとに練習をしてから当日を迎えることで、活動内容が理解でき、自信をもって取り組むことができました。

また、荷物の整理が自主的にできるように支援を行いました。お風呂セット、2日目の着替え、パジャマセットの三つを色違いの洗濯ネットに入れて、自分で荷物の出し入れができるようにしました。

そして、児童が自主的に活動できることを考えて、大切にしたのが、A4版のクリアブックを使用した一人一人のしおり（スケジュールを中心とした）作りです。基本の活動内容は、児童の実態に合わせて、イラストや文字を貼ったり、自分で書いたりして作製しました。係活動については、自分の係バッジと同じ写真を活動する時間帯に貼り付けました。荷物整理についても3種類の袋の写真をその袋を使用する時間帯に貼り付けました。事前の荷物点検では、自分で予定表の写真と実物をマッチングさせて確認しました。

これらの工夫により、自分で理解して、作ったしおりをしっかり見ながらいろいろな活動に見通しをもって参加することができました。特に自分の係の仕事に、いつ取り組むのかの見通しをもつことができるようになったことや必要なときに自分で荷物を取り出すことができるようになったことは大きな成果でした。野外活動当日は一つの予定が終わるごとに、教師とできたことを確認し、花丸を付けて達成感をもたせました。

約2か月間、事前に支援し取組を重ねたことで、初めての場所でも、自主的に活動に取り組むことができ、充実した2日間を過ごすことができました。花丸のたくさん付いたしおりが児童一人一人の頑張った証となりました。

6/20 木	6/21 金
あさのかい	おきる
あさのかい	きがえ
おべんとう	にもつせいり
おたのしみ	あさのかい
メダルづくり	あさごはん
にもつせいり	おべんとう
よるごはん	おふろ
おふろ	キャンプファイヤー
キャンプファイヤー	ねる

野外活動当日全体で確認用の予定表

事前学習

個人の予定表書き込み式ワーク

6/20 木	6/21 金
あさのかい	おきる
あさのかい	きがえ
おべんとう	にもつせいり
おたのしみ	あさのかい
メダルづくり	あさごはん
にもつせいり	おべんとう
よるごはん	おふろ
おふろ	キャンプファイヤー
キャンプファイヤー	ねる

野外活動当日

花丸でいっぱいワークシート

6/21 金
おきる
きがえ
にもつせいり
あさのかい
あさごはん
そうじ

書評

「ケーキの切れない非行少年たち」

子どもの認知特性に合わせたアプローチを



宮口 幸治 著 新潮新書
定価 720円(税別)

いろいろなメディアで全国的に取り上げられている話題の本です。著者の宮口幸治先生は、多くの非行少年たちと向き合う中で「反省以前」（反省するための認知的な力そのものが弱いと思われる）の子どもたちの存在に気付かれ、これまでとは違うアプローチでの取組を始めておられます。これが『コグトレ』です。今回の通信でも紹介しているように、本校では今年の夏に「コグトレ研修会」を広島大学の宮口英樹先生を講師に迎えて開催しましたが、この本は、その『コグトレ』が誕生するに至る過程と『コグトレ』の内容について書かれています。（ちなみに宮口英樹先生は著者の宮口幸治先生の御兄様です。）この中で、「反省以前」の子どもたちが抱えている課題を象徴しているのがまさに「ケーキが切れない（ケーキを三等分できない）」という実態です。まず、私たち教師が子どもの困っていることや認知特性に気付く力を高めるための視点や、認知特性に合わせてどのように教育していくと良いのかという手掛かりがこの本の中には描かれています。本書の最終章は「ではどうすれば？ 1日5分で日本を変える」という圧巻のタイトルで締めくくられます。すでに『コグトレ』に取り組まれている方、これから挑戦しようと思われている方にもオススメです。教育に携わる多くの方に読んでいただきたい1冊です。

宮口 幸治 (みやぐち こうじ)

立命館大学産業社会学部教授。京都大学工学部を卒業し建設コンサルタント会社に勤務後、神戸大学医学部を卒業。児童精神科医として精神科病院や医療少年院に勤務2016年より現職。困っている子どもたちの支援を行う「コグトレ研究会」を主宰。医学博士、臨床心理士。



編集 後記

サポート通信を御愛読いただきありがとうございます。今号から新しいデザインにしてみました。いかがでしょうか？今年度も夏の研修会や教育相談会に多数御参加いただき地域支援部員一同感謝しております。昨年度から夏期研修で紹介している「コグトレ」は今、全国的にも注目されている研究です。本校にはそれを開発された御兄弟のお兄様である宮口英樹先生が定期的に来校されていますので、新しい情報を比較的早く入手できます。来年度も引き続きコグトレ研修の開催を検討しています。